

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 4月号

令和5年4月10日(月)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』
たしかな学力
ゆたかな心情
たくましい身体

令和5年度のスタートにあたって

校長 小林 正美

新入生並びに保護者の皆様、大宮北中学校への御入学、誠におめでとうございます。そして、新2、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。私は、この4月より富田英雄前校長の後任として着任しました校長の小林正美(こばやしまさみ)と申します。本校の良き伝統と歴史を引き継ぎながら、教職員と保護者・地域の皆様と共に、明るく温かな学校づくりに全力で努めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日、第75回入学式、そして第1学期始業式を終え、いよいよ新しい年度がスタートしました。生徒の皆さんは、今どのような気持ちでいるのでしょうか。新しいクラスで勉強を頑張ろう、同好会活動(部活動)に打ち込んでみよう、学校行事に積極的に取り組もうなど、決意を新たにしていることと思います。今は、新しい始まりの時です。この熱い思いを大切に、これからの学校生活に是非生かしてください。

さて、本年度も本校は、「みんなで創る!!笑顔満開 大宮北中」をスローガンとし、学校教育目標を「人間性豊かな実践力のある生徒～たしかな学力 豊かな心情 たくましい身体～」としました。そして、「めざす子ども像」として、「夢や目標をもち、実現に向け、日々努力する生徒」「様々な課題に対し、あきらめずに主体的に物事を解決する生徒」「思いやりの心をもち、コミュニケーション力、表現力のある生徒」を掲げ、その育成に取り組んでまいります。また「めざす学校像」としては、「生徒一人ひとりが『来甲斐』『居甲斐』『やり甲斐』のある学校」「伝統の継承と新たな構築による信頼される学校」を目指してまいります。子どもたちの教育は、学校という場所でのみ、なし得るものではありません。学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの教育にあたるのが不可欠です。そのためには3つの『和』が大切だと考えています。1つ目は、「生徒・保護者と教職員との『和』」です。よく、学校と家庭は車の両輪にも例えられますが、生徒と保護者そして教職員がベクトルを合わせて、同じ方向に向かって手を携えていくことはとても大切だと考えています。お互いの理解と協力があってこそ、望ましい教育活動が進められるのです。2つ目は、「生徒相互、保護者相互、教職員相互の『和』」です。生徒たちが学校生活の中で信頼し合える「友」を見つけ、助け合い、切磋琢磨し合うことは、今最も求められる教育環境だと思います。同様に保護者が相互に情報を共有し悩みを分かち合い協力し合っていくこと、教職員がチームワークをもって一致団結して教育活動にあたるのが、学校の充実・発展につながっていくものと考えています。最後に3つ目は、「学校と地域社会との『和』」です。学校の教育活動は様々な地域の皆様のご理解とご支援を受けてはじめて成立していきます。また、生徒たちも地域の多くの皆様と触れ合い、活動していくことが大きな学びとなり人間的な成長が図られていくものと思います。そして、これらの3つの『和』が、大きな『輪』となっていくことで、学校は充実した教育活動を展開することができ、生徒の望ましい成長が図られるのだと思います。

本校の教育活動の全ては、伝統と歴史ある大宮北中学校をこれまで応援して下さった多くの方々、そして保護者や地域の皆様のご理解とご協力によって支えられています。今年度も引き続き「全ては生徒の未来のために」を合言葉に何卒よろしくお願い申し上げます。